

園芸施設の積雪対策について

平成30年2月9日
福井県農業総合指導推進会議

- ・ 天気予報や気象庁等の情報を収集し、事前の対策をとる。
- ・ 安全確保を最優先に作業を行う。
- ・ 積雪の沈降圧等によるハウスの被害拡大を防止するため除雪等を急ぐ。

1 安全確保

- ・ 除雪作業は施設の安全を確認してから行う。
- ・ パイプや被覆資材への負荷や変形がみられる場合は内部への進入は控える。
- ・ 作業は必ず複数人で行い、積雪直下では作業しない。
- ・ 破損したパイプは外した時に跳ね返りで怪我をすることがあるので注意する。

2 除雪

- ・ ハウス側面の雪は屋根雪の滑落を妨げ、側面に側圧を加えるので除雪を急ぐ。
- ・ 除雪が進まず倒壊の恐れがある場合は、安全を確認しながら施設のビニールを破る。
- ・ 散水による融雪を行なう場合は、ハウス側壁部に散水する。(屋根雪に散水すると、重量が増加するため倒壊の恐れがある。)
- ・ 積雪に偏りがあると偏荷重で倒壊の恐れがあるので、ハウス両側を均等に除雪する。
- ・ 降雨が予想されており、雪が吸水して、重量が増加し、倒壊の恐れがあるので注意する。
- ・ ハウス肩部や腰部のパイプが雪に埋没したまま放置しておくと、沈降圧により変形、破損するので、早めに掘り出すか、雪を踏圧する。
- ・ ようりんやもみがらくん炭などの融雪資材がある場合は散布する。
- ・ ビニールを除去しているハウスでも、ジョイント部の雪を除雪する。

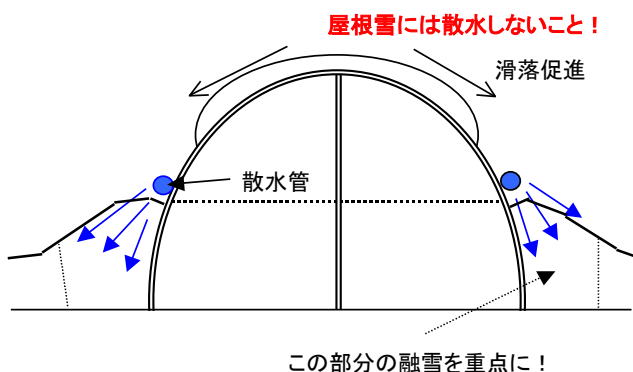


図. ハウスの積雪対策